



令和7年4月1日

知多半島総合医療センターが開院します



【問合わせ】 病院管理課 ☎22-9881

「半田市立半田病院」が半田びよログスポーツパークの東側に移転し、「知多半島総合医療センター」として開院します。また、近接する「常滑市民病院」と経営統合し、両病院は「地方独立行政法人 知多半島総合医療機構」という新たな組織に生まれ変わります。



知多半島総合医療センター
(〒475-8599 半田市横山町192番地)

知多半島総合医療センターでは、救命救急センターによる高度急性期医療やがん治療などの薬物療法、放射線療法、手術療法を集中的に担います。スムーズな救急搬送のための緊急退出路や屋上ヘリポート、日本一の免震装置などを整備し、地域の災害拠点病院としての役割を担います。

施設・設備のご紹介

1 災害への対策

〈ヘリポート〉



〈免震装置〉



現病院にはドクターヘリを着陸させる場所(ヘリポート)がなかったため、患者さんを搬送する際は近接するさくら小学校の校庭へ着陸させてから病院へ運んでいました。知多半島総合医療センターでは、患者さんの救命率の向上を図り、病院の屋上にヘリポートをつくりました。また、南海トラフ巨大地震が発生したときでも医療施設としての機能を維持できるように開発した免震装置は、160cmの揺れにも対応できる「日本一」の免震システムです。

知多半島総合医療センターでは、これまで以上に地域の災害拠点病院としての役割を果たし、知多半島の医療へ貢献していきます。

2 患者さんに寄り添った施設

〈リハビリ庭園〉



屋外のリハビリで
気分もリフレッシュ!

知多半島総合医療センターでは、**患者さんが少しでも開放感を味わえるよう、屋外にリハビリ庭園をつくりました。**

ここではスロープや階段を使った歩行訓練を行います。

もちろん屋内にもリハビリ室はありますので、雨の日でも安心です。

